令和８年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校
第２回学校運営協議会　議事録

１　日時　令和８年９月 24 日（月）　午前 10 時～12 時
２　場所　静岡県立東部特別支援学校伊東分校
　　（〒412-0055　伊東市岡 1270－1）

３　出席者
＜運営協議委員＞　福西　正美　委員（伊東市立さくら園園長）【コーディネーター】
岩﨑　陽子　委員（伊東市立伊東小学校 PTA）
安藤　健雄　委員（湯の花共栄会役員）
伊藤　秀雄　委員（民生委員（主任児童委員））
佐々木　剛　委員（元特別支援学校教員）
飯島　杏美　委員（東部特別支援学校伊東分校ＰＴＡ会長）

＜学　　校＞　佐々木　雅則（校長）
板垣　　久　（副校長）
神戸　正輝　（小学部主事）
内田　香津子（中学部主事）

４　日程
10:00～10:10　あいさつ　日程説明
10:20～10:40　小学部参観
10:40～11:10　中学部参観
11:10～11:20　休憩
11:30～12:00　各学部の学習について（各部主事）
質疑応答、閉会

5　議事内容（司会：コーディネーター　福西正美様）

発言者	内容
校長より あいさつ	連休中に、台風 25 号が通過し、各地に被害が生じましたが、伊豆地区においては大きな被害がなくほっとしているところです。常日頃災害対策に十分注意をしていく必要があります。今日は、中学部において「防災教育」授業を参観していただきます。授業参観後、委員の皆様から御意見をいただき、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。
副校長より 本日の日程	今回は、伊東分校で大切にしている交流授業や防災教育について、実際に授業参観していただきます。後ほど、各学部主事より、交流についての説明があります。交流の掲示物も掲示してありますので、ご覧ください。 **校内参観**
小学部主事より 学校間交流の紹介	小学部は、全ての学年で伊東小学校との交流を行っています。全学年において、年に１回は直接交流を行うよう計画しています。 伊東小２年、３年、４年、特別支援学級に児童は、伊東分校に来校し、交流する計画もあります。12 月には図画工作の作品交流も計画しています。
中学部主事より 学校間交流や地域交流の紹介	中学部は北中学校と交流を行っています。北中学校閉校に伴い、今年度最後の交流となります。次年度以降は門野中学校と交流を行う予定です。 北中学校との直接交流は年２回行われます。北中に出向き、北中１年生と一緒に清掃活動に取り組みます。２回目は、北中生が考えてレク活動を一緒に行います。さらに、プランター交流も行っています。お互い花を育て、お互いの学校にプレゼントします。毎日水やりを行うことで、常に交流を意識することができています。 地域交流としては、湯の花商店街様にビーズの看板を渡したり、七夕飾りを飾ってもらったりしています。今年度は学校近くにある「よねわかの湯」の清掃活動にも取り組み始めました。地域交流を通して、生徒たちの学びを支援していきたいです。

運営協議会委員から質問や感想など	
岩﨑委員	・前回の学習とのつながりが感じられ、楽しく参観できました。毎回、先生方の関わり方や教材の工夫が素晴らしいと感じています。また、防災教育における体験的な活動は大変効果的であり、小学校などでも取り入れられるとよいと思いました。
安藤委員	・３年間授業を見てきましたが、子どもたちの成長が著しいと感じています。以前はボールプールで活動していた児童生徒が、今回は友達と一緒に活動に参加している様子を見て、大きな成長を感じました。また、体験的な活動は子どもたちの理解を深める上で大変効果的だと思います。 ・地震や洪水等の災害により帰宅が困難になった場合の対応について質問があり、学校からは食料３日分と寝袋を準備している旨の説明をしました。
伊藤委員	・前の学習が今の学習につながっており、電車の利用から買い物学習へと発展している様子がよく分かりました。小学校では避難訓練の際に時間を計ったり、姿勢や態度を指導したりすることが中心ですが、今回は「火災報知器が鳴ったらどうするか」「服に火が付いたらどうするか」など、実際の場面を想定した学習が行われており、とても良い取組だと感じました。また、「よねわかの湯」での清掃活動など、地域とのつながりを大切にした活動が行われている点も大変素晴らしいと思いました。
佐々木委員	・学年が上がるにつれて子どもたちの落ち着きが見られるようになり、成長を感じました。また、先生方が「こんなことをしてみたらどうか」と新しいことに挑戦する姿勢と、先を見通した指導がとても良いと感じました。施設についても、西小学校時代と比べて活動しやすい環境になっていると感じます。掲示物が充実していることは良いことですが、教室内については必要なものに絞り、よりシンプルな環境にしてもよいのではないかと思いました。また、「よねわかの湯」での清掃活動は、地域とのつながりを深める貴重な機会となっており、周囲の目を意識する機会が少なくなっている中で、子どもたちが地域へ出て活動することは大変意義があると感じました。

飯島委員	・数か月の間に子どもたちの体つきや表情が大きく変化しており、その成長ぶりに驚きました。また、校外学習の機会が多く、子どもたちも楽しみにしていると聞いているため、今後も継続してほしいと思います。さらに、地域の方々と交流する機会が少なくなりがちな中、地域とのつながりを大切にしながら、交流の機会を積極的に設けていってほしいと感じました。
福西委員	・防災学習で行われていた煙体験やシーツを活用した避難訓練は大変参考になりました。さくら園においても、実際の行動につながる体験的な訓練として取り入れていきたいと感じました。また、服に火が付いた際の対応など、命を守るための知識は保護者にもぜひ知っていただきたい内容だと思いました。災害時には想定外の状況が起こることもあるため、日頃からさまざまな場面を想定した備えを進めていくことが大切だと感じました。
	次回の予定を確認し、閉会となった。